

## リゾートホテル 開発不許可要請 石垣市自保住民が県に

石垣市自保のリゾートホテル建設計画を巡り、市民生活や自然環境に影響が出るとして反対する住民が6日、県土木建築部を訪れ、業者に開発許可を出さないよう要請した。

自保リゾートホテル問題連絡協議会の新里昌央会長（写真左）らが要請。ホテル建設予定地が下水道未整備地域で、汚水処理後に排



水を地下浸透させる方法が「豪雨や潮位により、汚水が海に流れ込む可能性がある」となどと指摘した。

世界的に貴重なアオサンゴ群落など生態系に影響が出るとして、県に対し、業者の開発許可申請を不許可とするよう求め、建設反対の署名1万1106筆を提出した。新里会長は「自保は半農半漁の人が多く、海が破壊されれば生活に直結する」と訴えた。

世界自然保護基金（WWF）ジャパンも同日、同ホテル建設の開発許可を出さないよう求める意見書を県に提出した。